

報告第1号

平成27年度事業報告

障害者福祉サービス事業のうち「障害者支援施設天北厚生園」は、懸案事項であった、暖房設備の改修を行い、住環境の整備に努めてきた。

しかし、利用者の高齢化や重度化が進み生活支援員の適正な人員配置が求められている。

また、「一体型共同生活事業所すまいる」は、安定した経営状況であるが、「多機能型事業所DO」は、作業内容の見直しと利用者数の確保が急務であり今後の課題となっている。

「養護老人ホーム長寿園及び特別養護老人ホーム長寿園」は、利用者の重度化、介護員・支援員・看護職員など適正人員配置の確保が大変厳しい状況、今年度も引き続き在宅サービス利用者の施設への入所が多く、又、在宅事業も稼働率の低下傾向により減収、どの事業も大変厳しい決算となった。

当法人が運営する各事業、決算の概要は次の通りとなります。

一般会計における各拠点区分の状況について、本部拠点区分は、各事業から運営費を繰り入れることにより運営、養護老人ホーム拠点区分 利用者の重度化による支援員の加配により△18,836千円(うち設計業務委託料 4,630千円)、特別養護老人ホーム拠点区分 利用者の重度化に伴う稼働率の低下と介護・看護職員の適正配置困難、短期入所利用率の伸びもあり△6,378千円(うち設計業務委託料 4,630千円)の決算となった。

一方、障害者支援施設拠点区分は、△48,105千円(うち機械室・ピット内改修工事 52,920千円)、一体型共同生活事業所拠点区分 4,075千円の繰越金を計上、多機能事業所拠点区分 3,621千円(障害者支援施設拠点区分からの繰り入れを含む。)の決算となった。

高齢者の在宅事業は、デイサービスセンター サービス区分 当初の町委託料を△4,709千円の精算、訪問介護サービスセンター サービス区分 当初の町委託料を△1,393千円の精算、居宅介護支援事業所 サービス区分 町補助金を3,716千円精算する決算となった。

平成27年度社会福祉法人南宗谷福祉会一般会計決算の繰越金(総額)7,697,294円は、次会計年度に繰り越すこととなります。

平成27年度社会福祉法人南宗谷福祉会が運営する事業の概要を、次の通り報告いたします。